

Q：上図、東日本火山帯をみると三陸海岸、浜通り、関東地方太平洋岸には火山帯が有りません。従って温泉もないのはどうしてですか。

A：確かに青森県の東部、三沢の近くに温泉がありますが、北上山脈、阿武隈山脈には温泉がありません。

常磐ハワイアンや湯本温泉は火山の温泉ではなく常磐炭鉱の坑道の湧き水で、地熱で熱くなったものですし、岩井戸は鉱泉です。

宮城県の蔵王温泉や仙台郊外の秋保温泉も奥羽山脈に属し内陸になります。

日本列島は島弧列島であることは前述しましたが、島弧とは、大陸と大洋の間にあって、火山帯を持つ弓なりの島であり、その大洋側には海溝が島に並行に存在する。

島弧の火山帯の大きな特徴は、火山分布の海溝側に明瞭な境界線が引けることで、この線を火山前線、或は火山フロントと呼んでいる。

この火山フロントの位置は、沈み込んだプレ - トの深さ 150km 位の等深線であるからプレ - トの下部くらいになる深度だがその等深線と一致する。

西日本火山帯もフィリピン海プレ - トの沈み込みで形成されたが、火山帯は山陰側にあり、九州を縦断、琉球列島の西側に存在する。

東日本火山帯の火山フロントの存在は、白河付近からは東北本線に沿って存在すると理解して下さい。ですから福島県の温泉地は東北本線の西側に存在します。

ただし、仙台付近だけは東北本線が海寄りになりますが、火山フロントは蔵王付近を通過して、一関市付近で火山フロントと東北本線が再び重なります。

休暇の楽しみは、全国口 - カル線で各駅停車の旅ですが、日本全国の地形が車窓から良く判りますし、先人達はその地形にあった利用方法を考慮して活用しているのは感心し、かつての城下町と盆地の関係についても、防御のための城の位置と城下町の配置が成程と理解できます。

ところが近年、土木工作機械の発達は、地形の破壊ばかりで憤りを感じます。

Q：火山による地震は噴火の時 地震を伴うのは解りますが、その他の活動の時も地震を伴うことがあるのですか？

A：火山の活動に関して、様々なタイプの地震活動があります。そのうちの火山性地震と火山性微動について述べます。

これらは、必ずしも火山の噴火活動の時だけ起きるとは限らず、マグマの圧力の変化などで、マグマの近くの岩盤が破壊すると火山性地震となり、マグマや火山ガスの移動に伴って起こる震動などは火山性微動となる。火山性微動は地震のように急に襲ってくる揺れではなく、段々強まり、いつの間にか収まっているような地震で、マグマや火山ガスが原因などで、火山周辺では発生する回数は多い。

Q：三宅島の火山噴火活で、全島民が避難したが、その後はどうなったのですか？

A：三宅島噴火の前に大島三原山の大噴火があり、全島民が避難したことから始めましょう。1986 年 11 月三原山が噴火し、小規模ながら溶岩の流出がありました。その光景見たさに全国から観光客が集まり、島は大賑わいで時ならぬ観光ブ - ムに町は活気に溢れておりました。

ところが 11 月 21 日午後 4 時 15 分 突然、大地震、大音響とともに三原山が大噴火を起し噴煙は 8000m 上空まで達するという凄まじさの噴火で、溶岩流も多くなり、火山弾の怖